電子決済のすすめ

安心・安全・ゆとりある生活
新型コロナ禍に対応した生活

電子決済には４種類ある！

電子決済
(キャッシュレス決済)

クレジットカード決済

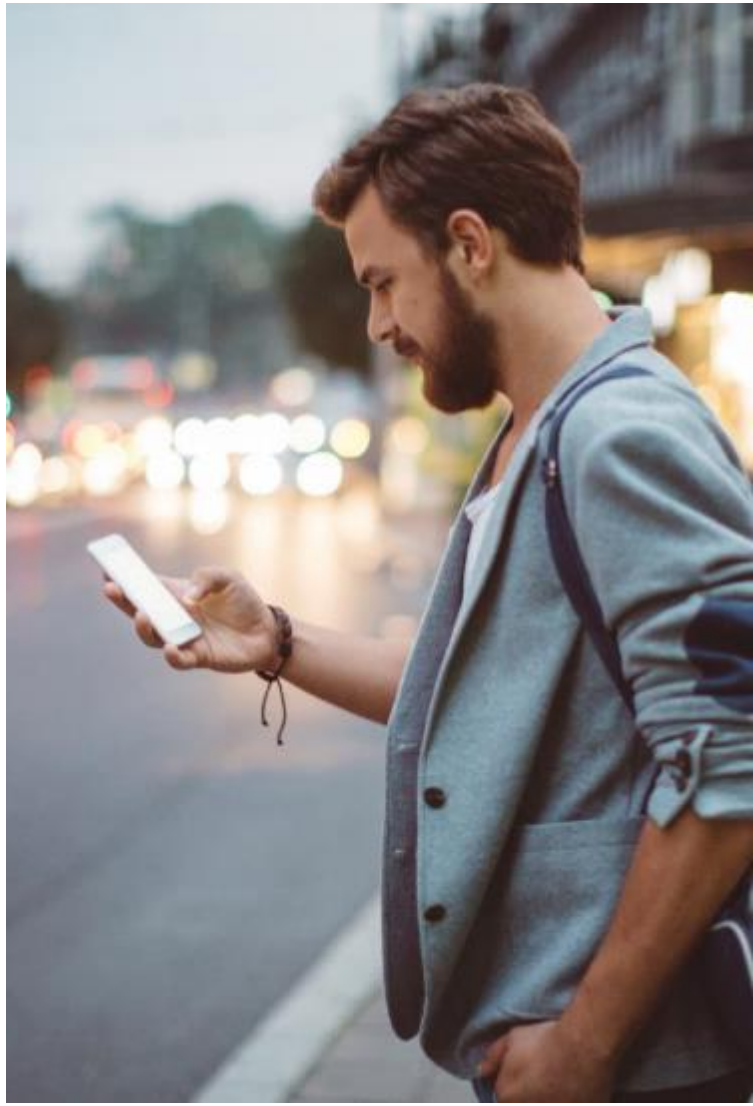
クレジットカードをカードリーダーで読込又はカード番号・有効期限・名義を入力することで決済する

電子マネー決済
Suica/PASO/WAON/nanako/Edy/iD/QUIC PAYがあり事前に現金をチャージし決済する

コード決済
スマートホンに決済アプリをダウンロードし、QRコードやバーコードを読み取り決済する

モバイル決済
スマートホンなどのモバイル端末をかざすことで決済する　おサイフケータイ/ApplePay/GooglePay

お店側は電子決済の種類ではなく、設置する決済端末を選びます
クレジットカード端末/電子マネー端末/QRコード/総合端末(代表的なAirPAy)



支払方法には３種類ある！

電子決済の支払方法
(利用者の支払いタイミング)

1.前払い(プリペイド)

あらかじめカードやアプリ上にお金をチャージしておき、そのチャージ残高の範囲で買い物ができる

2.即時払い(デビットカード)

預金口座を連動し、利用と同時に引き落とされるため預金残高以上の買い物はできない

3.後払い(ポストパイ)

一定期間の利用額を後日まとめて支払う

代表的なものにクレジットカードがある

それぞれの利点/欠点(メリット/デメリット)

クレジットカード決済

利点(メリット)

預金残高に依存せず、あらかじめ現金を用意してチャージしておく必要がない

現金を引き出す手間や時間が節約でき、ATM手数料や振込手数料がかからない

紛失や盗難時に悪用されにくく、保険でカバーされる

衛生的であり新型コロナ禍でのニューノーマルな生活スタイルにマッチ

欠点(デメリット)

クレジットカードという媒体が必要

オンラインショッピングでカード情報が漏洩する危険がある

スキャニングされカード情報が盗まれる危険がある

電子マネー決済

利点(メリット)

支払がスピーディーに行える

つり銭の受取が不要

衛生的であり新型コロナ禍でのニューノーマルな生活スタイルにマッチ

欠点(デメリット)

電子マネーカードという媒体が必要

あらかじめ現金を用意し電子マネーとしてチャージが必要

紛失や盗難に不正利用される

クレジットカードとは異なり保証されない

現金を用意するためのATM操作、さらにチャージのための

コンビニ訪問という面倒さ

※iDやQUICKPAYはチャージ不要な電子マネーです

コード決済

利点(メリット)

支払がスピーディーに行える

クレジットカードや電子マネーカードという媒体が不要

スキャニングやカード情報の漏洩がない

衛生的であり新型コロナ禍でのニューノーマルな生活スタイルにマッチ

欠点(デメリット)

スマートホンが必要

インターネット環境が必要

モバイル決済

利点(メリット)

支払がスピーディーに行える

クレジットカードや電子マネーカードという媒体が不要

スキャニングやカード情報の漏洩がない

衛生的であり新型コロナ禍でのニューノーマルな生活スタイルにマッチ

欠点(デメリット)

スマートホンが必要

インターネット環境が必要

決済には専用端末が必要なため店舗数が少ない

現代社会の恐怖
(進化する特殊詐欺)

特殊詐欺の手口

- オレオレ詐欺
  親戚、弁護士、警察官を装い示談金等をだまし取る手口.
- 預金詐欺
  銀行員、警察官を装いキャッシュカードや預金通帳をだまし取る手口.
- キャッシュカード詐欺
  警察官、百貨店職員を装いキャッシュカードの不正利用を名目にキャッシュカードを搾取する手口.
- 架空請求詐欺
  未払いの料金があるなどと架空の事実を口実に金銭をだまし取る手口.
- 還付金詐欺
  還付金の手続きを装いATMを操作させ口座預金をだまし取る手口.

被害に遭う要因
(詐欺のターゲット)

特殊詐欺が狙うものとは

- 現金をだまし取るために狙われているものが、
  「キャッシュカード」・「預金通帳」です.
  キャッシュカードや預金通帳、現金が家にあることを
  前提にまたは確認した上で接触してきます.

  それならば、キャッシュカードや預金通帳、現金を
  家に置かなければ詐欺を防止できる.
  では何故、それらを家に置いているのか.
  それは生活する上で買い物をしなければならない、
  絶対に必要だと思っているからです.

安心・安全でゆとりある生活
新型コロナ禍に対応した生活
そのための変化・・・とは？

現金・キャッシュカード不要

非接触で新型コロナ禍にも対応した生活スタイル

ひとつの提案

安心・安全でゆとりある生活を送る

新型コロナ禍に対応した生活を送る

高齢化が進むなか、安心・安全な生活を考えた時大きな脅威として特殊詐欺があります.

ゆとりある生活を送る上で時間や行動の節約は大切なことであり買い物でのスピーディーな支払いもその一つです.

また、ATMでの行列やつり銭のやり取りは新型コロナ禍のニューノーマルな生活スタイルに対応していません.

それでは、3段論法で考えてみましょう！

現金を手元に常備しない.

電子マネーのチャージのために現金を用意しない.

↓

現金を必要としないことは必然的にキャッシュカードも手元に常備しない.

↓

現金やキャッシュカードを常備しないため財布の必要がない.

↓

財布を必要としないのであればクレジットカードやデビットカード、電子マネーという媒体を入れる物がないためカード等は所持しない.

↓

電子決済を使う！

どの電子決済を選ぶ？

クレジットカードを支払方法とするコード決済

安心

現金、電子マネーは紛失・
盗難時に被害を受ける.

ゆとりある生活

ATMでの現金化やコンビニでの
チャージが不要でスピーディな支払い.
クレジットカードのポイント+コード決
済のキャッシュバックやポイント取得.

安全

手元に現金やキャッシュカードを
常備しないため特殊詐欺を防ぐ.

新型コロナ禍に対応した生活

現金化やチャージ行動での密を回
避しつり銭などの接触を遮断.

コード決済の紹介

PayPay(推奨)

※推奨理由：利用店舗数が一番多い

SOFTBANK

回線契約などの前提条件が無い

ゆうちょPay

ゆうちょ銀行

R Pay

楽天

メルペイ

メルカリ

FamiPay

ファミリーマート

au Pay

KDDI

auプリペイドカードまたは

auじぶん銀行口座が必要

決済はチャージのみ

J-Coin

みづほ銀行

d払い

NTT DOCOMO

ドコモ回線契約かdアカウント必須

PayPayコード決済の優位性！
1.利用店舗数が一番多い
2.支払い方法でクレジットカードを設定できる
・銀行口座支払いでは常に残高が必要
・チャージ支払いでは現金の用意が必要
・クレジットカード支払いならポイントも付く

PayPay

さあ、準備しよう

1.スマートホンにPayPayアプリをダウンロードする

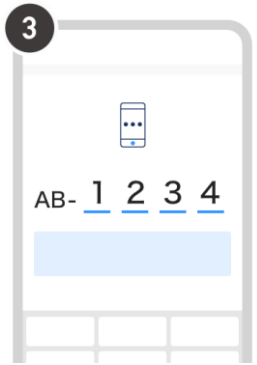
App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

2.アカウントを登録する

アプリを起動して電話番号とPASSWORDを入力する

SMSメッセージで認証コードを受信する



受信した４桁の認証コードを入力する

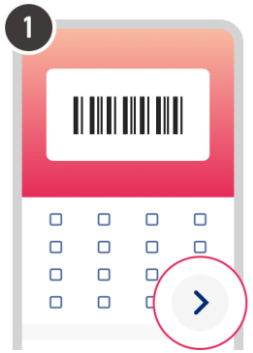
以上で登録完了

PayPay

3.次に支払い方法を設定する

支払方法には、①銀行口座　②ATMから現金のチャージ　③クレジットカード支払の3通りがあります。
その中で安心・安全・ゆとりある生活・新型コロナ禍に対応した生活をテーマに提案する支払い方法として③のクレジットカード支払を推奨します。

4.クレジットカードを登録する



ホーム画面の【>】を選択する

【カード追加】を選択する

クレジットカード情報をカメラで読み取るか【カード番号を直接入力する】を選択する

クレジットカード情報を入力し【追加する】を選択する

クレジットカード支払の設定が完了

※クレジットカード会社の『本人認証サービス(3Dセキュア)』を登録してください。

登録しない場合は、30日間で5,001円以上の支払いができません。

PayPay

使ってみよう！（2通りの支払い方法）

1.バーコードを店員に見せる

ホーム画面の【支払う】を選択する

画面を店員に見せ、 PayPay画面のバーコードを読んでもらう

自動で金額が表示され支払いが完了する

2.お店のQRコードを読み取る

ホーム画面の【スキャン】を選択する

お店に置かれているQRコードを読み取る

支払う金額を入力して【次へ】を選択する

画面を店員に見せ【支払う】を選択する

支払い完了

PayPay

d払いコード決済の優位性！
1.利用店舗数が拡大中
2.支払い方法でクレジットカードを設定できる
・銀行口座支払いでは常に残高が必要
・チャージ支払いでは現金の用意が必要
・クレジットカード支払いならポイントも付く

d払い

さあ、準備しよう

1.スマートホンにd払いアプリをダウンロードする

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

2.アカウントを登録する(DOCOMO回線の方)

モバイルネットワーク（spモード接続）に接続して、4桁パスワード※１を入力します。その後、ご利用設定を入力し、「次へ」をタップしてください。
※1 spモードパスワードまたはネットワーク暗証番号となります。

通知設定、メール受信設定を希望にチェックし「次へ」をタップしてください。

チュートリアルを確認したら、ご利用開始です。

d払い

2-1.生体認証または画面ロックで認証を設定する

※毎回、パスワードを入力してd払いする場合は必要ありません。

dアカウント設定アプリを起動し、「生体認証または画面ロックで認証」をタップします。
※端末によっては「生体認証」ボタンが表示されます。詳しくは対応機種一覧をご確認ください。

機能説明・ご注意事項をご確認のうえ、「次へ」をタップしてください。
※紛失等に備え、端末の画面ロック設定は他人には推測されにくい設定にしておくことをお勧めしています。

<回線接続の場合>
ネットワーク暗証番号画面でネットワーク暗証番号を入力し、「OK」をタップします。

<Wi-Fi接続の場合>
パスワード入力画面でパスワードを入力し、「OK」をタップします。その後、ネットワーク暗証番号画面でネットワーク暗証番号を入力し、「OK」をタップします。
※ネットワーク暗証番号は、ドコモご契約時に、お客様で設定された4桁の数字となります。

d払い

端末に設定した生体情報で生体認証、または画面ロックを使って認証してください。
※端末に生体情報や画面ロックが未登録の場合、端末への生体情報・画面ロックの登録から始まる場合があります。

生体認証の設定が完了しました。続けて、パスワード無効化設定を実施することができます。
※指紋認証に対応した端末では、一度の設定で全ての指紋情報が利用可能になります。
※一部の端末では、指紋情報をひとつずつ設定する必要があります。その場合、「登録済みの別の指紋を追加する」ボタンが表示されますので、タップして設定してください。
※パスワード無効化設定でできることや設定方法については、以下のページをご確認ください。

d払い

3.アカウントを登録する(DOCOMO回線以外の方)

3-1.まずdアカウントを作成する

※dアカウント設定アプリをダウンロードする必要があります。

dアカウント設定アプリを起動し、「新たにdアカウントを作成」をタップします。

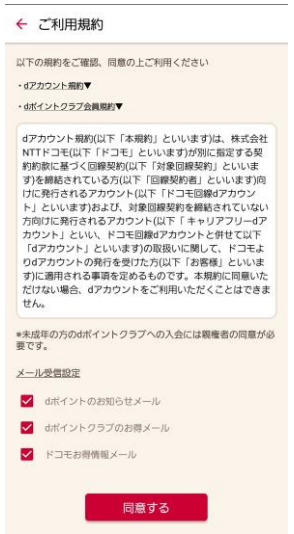
連絡先メールアドレスを設定します。端末内に選択可能なメールアドレスがある場合は選択項目として表示されます。連絡先として、表示されているメールアドレス以外を設定する場合は、「上記以外のメールアドレスを設定する」をタップしてください。
※連絡先が項目表示されない場合は、メールアドレスの直接入力画面となります。
※予備の連絡先メールアドレスが、他のdアカウントで設定されている場合は設定できません。

予備の連絡先メールアドレスを設定します。端末内に選択可能なメールがある場合は選択項目に表示されますので、予備連絡先として設定したいメールアドレスをタップします。設定しない場合は、「予備の連絡先を設定しない」をタップしてください。

d払い

dアカウントのIDを設定します。あらかじめ、おすすめのIDが設定されていますが、好きな文字列にしたい場合は、フィールド内の「×」を押下し、文字入力を行います。メールアドレスをIDとして選択する場合は、表示されるメールアドレスから選択してください。設定するIDが決まりましたら、「設定する」をタップします。

dアカウントのパスワードと、お客様情報を入力します。すべての項目の入力が終わったら、「OK」をタップします。



各種ご利用規約が表示されます。内容を確認、またメールの受信設定を行いましたら、「同意する」をタップします。

d払い

dアカウントの作成が完了し、dアカウントの設定が完了しました。生体認証対応端末の場合、続けて生体認証設定ができますので、設定する場合は、「設定する」を選択し、「OK」をタップします。
「設定しない」を選択した場合は、dアカウント設定のメイン画面に遷移します。

d払い

3-2.生体認証または画面ロックで認証を設定する

※毎回、パスワードを入力してd払いする場合は必要ありません。

dアカウント設定アプリを起動し、「生体認証または画面ロックで認証」をタップします。
※端末によっては「生体認証」ボタンが表示されます。詳しくは対応機種一覧をご確認ください。

機能説明・ご注意事項をご確認のうえ、「次へ」をタップしてください。
※紛失時に備え、端末の画面ロック設定は他人には推測されにくい設定にしておくことをお勧めしています。

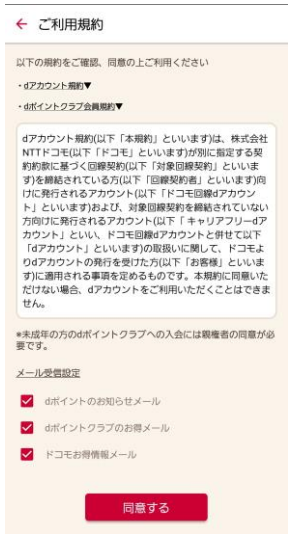
パスワード入力画面でパスワードを入力し、「OK」をタップします。

<パスワード無効化設定中の場合>
dアカウントの連絡先携帯電話番号に登録されている番号を使って、SMSメッセージ受信によるワンタイムパスワード入力を行います。
※セキュリティ上の理由により、SMSメッセージ受信は短時間に連続して行うことができません。エラーが表示される場合は、10分程度お待ちいただきた後、再度お試しください。

d払い

端末に設定した生体情報で生体認証、または画面ロックを使って認証してください。
※端末に生体情報や画面ロックが未登録の場合、端末への生体情報・画面ロックの登録から始まる場合があります。

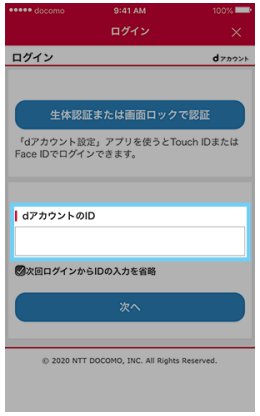
生体認証の設定が完了しました。続けて、パスワード無効化設定を実施することができます。
※指紋認証に対応した端末では、一度の設定で全ての指紋情報が利用可能になります。
※一部の端末では、指紋情報を一つずつ設定する必要があります。その場合、「登録済みの別の指紋を追加する」ボタンが表示されますので、タップして設定してください。
※パスワード無効化設定でできることや設定方法については、以下のページをご確認ください。



各種ご利用規約が表示されます。内容を確認、またメールの受信設定を行いましたら、「同意する」をタップします。

d払い

3-3.d払いアプリの設定



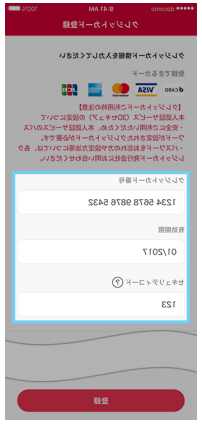
dアカウントを入力して次へ。パスワードを入力後、セキュリティコードを入力します。ご利用設定を入力し、「次へ」をタップ。

•セキュリティコードは、登録済みのメールアドレスに送信されています。

チュートリアルを確認したら、ご利用開始です。

d払い

3-4.クレジットカードの登録



クレジットカード情報の登録・3Dセキュア認証を行います。
本人認証サービス（3Dセキュア）の設定についてては、各カード会社に連絡してください。
•登録できるカードはdカードを含むVISA、Master、American Express、JCBカードです。
•本人認証サービス（3Dセキュア）の設定されたカードが必要です。
•dカード プリペイドカードは、本人認証サービス（3Dセキュア）が登録済みであれば、利用可能です。
•一部ご利用になれない加盟店があります。

d払い

使ってみよう！（2通りの支払い方法）

1.バーコードを店員に見せる

①d払いアプリを起動しバーコード・QRコードを表示

②d払い加盟店のPOSレジ・タブレットで読み取り

2.お店のQRコードを読み取る

①d払いアプリの画面右上のQRコード読み取り切替ボタンをタップ

②カメラでQRコードを読み取ってください

③金額を入力してください。※金額が指定されている場合は省略

④お支払い内容を確認の上支払うボタンをタップ

⑤お店の人がお支払い完了画面を確認して完了です。

※dポイントを利用するには、「dポイントを利用する」をタップしてから、お店の方にバーコード（またはQRコード）を提示してください。

au PAYコード決済の留意点！
1.au回線契約あり
・auプリペイドカード必須
2.au回線契約なし
・ auじぶん銀行口座必須
3.支払いはWallet(ｳｫﾚｯﾄ)から
・現金/銀行口座/ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞいずれかでチャージをしないといけない

au PAY

支払はau Walletから

1.au Payコード決済を利用する場合の重要な点
①個人認証
ｱ.au回線契約がある場合は、auプリペイドカードを発行する
ｲ.au回線契約がない場合は、au自分銀行に口座を開設する
②au Payアプリをダウンロード
③au Walletにチャージ
チャージの方法にはauプリペイドカードにチャージする方法のほかにau Payアプリと使い
現金でコンビニのATM経由でチャージする方法やクレジットカードでチャージする方法または
銀行口座からチャージする方法がある

2.au Payは、PayPayやd払いとは決済方法の考え方が大きく異なり
au Walletへのチャージが必要である

3.複雑な機構に感じるキーワード
①au Pay
②auプリペイドカード
③auペイカード
④au自分銀行
⑤au Wallet
⑥au Payアプリ
⑦auコード決済/auネット決済
⑧au Wallet/クレジットカード/簡単決済/じぶん銀行